

富山県高岡市
市内遺跡調査概報30

— 令和元年度 東木津遺跡の発掘調査報告他 —

2021年3月

高岡市教育委員会

富山県高岡市
市内遺跡調査概報30

— 令和元年度 東木津遺跡の発掘調査報告他 —

2021年3月

高岡市教育委員会

序

高岡市域においては、現在341箇所もの遺跡が周知されています。これら多くの遺跡で醸成された文化は、先祖から代々受け継がれ、現在の高岡市の風土や郷土文化をかたちづくっております。本市としましては、これら貴重な文化財を今後も保護してまいる所存であります。

このたび報告いたしますのは、個人住宅等の建設に伴い令和元年度（平成31年度）に実施した試掘調査15遺跡20地区の概要です。

試掘調査では、東木津遺跡にて古代の集落に関する遺構を検出するとともに、既往の調査成果と符合する遺物が出土するなど、貴重な資料を得ることができました。

本書を郷土における歴史探求や学術研究に活用していただければ幸いです。

末尾になりましたが、今回の発掘調査の実施にあたり、ご協力いただきました関係各位、地元の皆様に、厚くお礼申し上げます。

令和3年3月

高岡市教育委員会
教育長 米谷 和也

例 言

1. 本書は、富山県高岡市において高岡市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。
2. 当調査は、個人住宅の建設等の開発行為に伴い実施したものである。
3. 現地調査は令和元年度に国庫補助金の交付を受けて実施し、これにかかる報告書作成は令和2年度国庫補助金の交付を受け、高岡市教育委員会が実施した。
4. 本書で報告する遺跡ならびに調査地区は15遺跡20箇所である。
5. 調査形態は試掘調査である。
6. 調査関係者は以下のとおりである。

課 長 大野 洋 靖

副 課 長 奎田 真寿美（令和2年度～）

係 長 小林 新平

主 任 田上 和彦

杉山 大晋

7. 屋外調査は令和元年度に杉山・田上が担当し、報告書の編集は整理員の協力を得て、杉山・田上が担当した。
8. 発掘調査及び遺物整理の従事者は次の通りである。（五十音順）

【現地調査】

葛城英龍 草開博義 小泉憲和 小板達朗 社内悦夫 関 杏介 富田幸吉 平下真由

【報告書編集作業】

石浦優子 松永幸恵 山口淳子

9. 発掘調査にかかる遺物等の資料は、すべて高岡市教育委員会が一括保管している。

凡 例

1. 本書に掲載した遺構図の方位は座標北であり、水平基準は海拔高である。
2. 本書においては、各遺構に対し、次のような記号を付してその種別を表した。
S A : 柵址 S B : 掘立柱建物 S D : 溝状遺構 S E : 井戸址 S K : 土坑
S X : 凹地及び性格不明遺構
3. 本書においては、遺物実測図の縮尺のうち、特に記載のないものは土器・陶磁器類は1／3で統一した。その他は遺物番号などに記載している。

市内遺跡調査概報30

目 次

序

例 言

凡 例

目 次

第1章 遺跡の位置と歴史的環境 1

第2章 試掘調査 5

1. 2. 越中国府関連遺跡（伊藤不動産地区・中尾地区）
3. 高岡問屋センター遺跡（北雄ホームサービス地区）
4. 石塚江之戸遺跡（石浦地区）
5. 越中国府関連遺跡（脇本地区）
6. 上野A遺跡（福島地区）
7. 上北島遺跡（中村地区）
8. 越中国府関連遺跡（富山地方気象台地区）
9. 中曾根北遺跡（古市地区）
10. 岩坪岡田島遺跡（三芝硝材地区）
11. 東木津遺跡（（仮称）南星交番予定地区）
12. 大滝遺跡（圃場整備地区）
13. 大滝島田遺跡（圃場整備地区）
14. 中曾根西遺跡（高桑地区）
15. 蓼島前川原遺跡（圃場整備地区）
16. 駒方遺跡（圃場整備地区）
17. 駒方南遺跡（圃場整備地区）
18. 越中国府関連遺跡（渡壁地区）
19. 20. 牧野金屋遺跡（鈴木地区・越後地区）

挿 図 目 次

- 第1図 調査位置図
第2図 越中国府関連遺跡（伊藤不動産地区）
調査区位置図
第3図 越中国府関連遺跡（中尾地区）調査区位置図
第4図 高岡問屋センター遺跡
(北雄ホームサービス地区) 調査区位置図
第5図 石塚江之戸遺跡（石浦地区）調査区位置図
第6図 越中国府関連遺跡（脇本地区）調査区位置図
第7図 越中国府関連遺跡（脇本地区）遺物実測図
第8図 上野A遺跡（福島地区）調査区位置図
第9図 上北島遺跡（中村地区）調査区位置図
第10図 越中国府関連遺跡（富山地方気象台地区）
調査区位置図
第11図 中曾根北遺跡（古市地区）調査区位置図
第12図 岩坪岡田島遺跡（三芝硝材地区）
調査区位置図
第13図 東木津遺跡（（仮称）南星交番予定地区）
調査区位置図
第14図 東木津遺跡（（仮称）南星交番予定地区）
遺構実測図
第15図 東木津遺跡 既往の主な調査地区
(1/1,000)
第16図 東木津遺跡（（仮称）南星交番予定地区）
遺物実測図
第17図 東木津遺跡における道路・土地区画想定
模式図 (1/1,000)
第18図 大滝遺跡（圃場整備地区）調査区位置図
第19図 大滝遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図1
第20図 大滝遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図2
第21図 大滝島田遺跡（圃場整備地区）
調査区位置図
第22図 大滝島田遺跡（圃場整備地区）
トレンチ位置図
第23図 中曾根西遺跡（高桑地区）調査区位置図
第24図 萩島前川原遺跡（圃場整備地区）
調査区位置図
第25図 駒方遺跡（圃場整備地区）調査区位置図
駒方遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図
駒方南遺跡（圃場整備地区）調査区位置図
駒方南遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図
越中国府関連遺跡（渡壁地区）調査区位置図
牧野金屋遺跡（鈴木地区）調査区位置図
牧野金屋遺跡（越後地区）調査区位置図

表 目 次

第1表 令和元年度の遺跡調査一覧

図 版 目 次

- 図版01 写真 越中国府関連遺跡・高岡問屋センター遺跡
1. 越中国府関連遺跡（伊藤不動産地区） 第1トレンチ全景（東）
2. 越中国府関連遺跡（中尾地区） 第1トレンチ全景（西）
3. 高岡問屋センター遺跡（北雄ホームサービス地区）
第1トレンチ全景（北西）
- 図版02 写真 高岡問屋センター遺跡・石塚江之戸遺跡
1. 高岡問屋センター遺跡（北雄ホームサービス地区）
第2トレンチ全景（北西）
2. 高岡問屋センター遺跡（北雄ホームサービス地区）
第3トレンチ全景（北西）
3. 石塚江之戸遺跡（石浦地区） 第1トレンチ全景（東）
- 図版03 写真 石塚江之戸遺跡・越中国府関連遺跡・上野A遺跡
1. 石塚江之戸遺跡（石浦地区） 第2トレンチ全景（東）
2. 越中国府関連遺跡（脇本地区） 第1トレンチ全景（西）
3. 上野A遺跡（福島地区） 第1トレンチ全景（西）
- 図版04 写真 上野A遺跡・上北島遺跡
1. 上野A遺跡（福島地区） 第2トレンチ全景（西）
2. 上北島遺跡（中村地区） 第1トレンチ全景（東）
3. 上北島遺跡（中村地区） 第2トレンチ全景（東）
- 図版05 写真 越中国府関連遺跡・中曾根北遺跡
1. 越中国府関連遺跡（富山地方気象台地区）
第1トレンチ全景（南東）
2. 中曾根北遺跡（古市地区） 第1トレンチ全景（西）
3. 中曾根北遺跡（古市地区） 第2トレンチ全景（南西）
- 図版06 写真 岩坪岡田島遺跡・東木津遺跡
1. 岩坪岡田島遺跡（三芝硝材地区） 第1トレンチ全景（東）
2. 岩坪岡田島遺跡（三芝硝材地区） 第2トレンチ全景（西）
3. 東木津遺跡（（仮称）南星交番予定地区）
第1トレンチ全景（南西）
- 図版07 写真 大滝遺跡
1. 大滝遺跡（圃場整備地区） 第1トレンチ全景（南東）
2. 大滝遺跡（圃場整備地区） 第2トレンチ全景（南東）
3. 大滝遺跡（圃場整備地区） 第5トレンチ全景（南東）

図版08 写真 大滝遺跡

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第6 レンチ全景（南東） |
| 2. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第10 レンチ全景（南東） |
| 3. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第11 レンチ全景（北西） |

図版09 写真 大滝遺跡

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第12 レンチ全景（南東） |
| 2. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第13 レンチ全景（南西） |
| 3. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第14 レンチ全景（南東） |

図版10 写真 大滝遺跡

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第15 レンチ全景（南西） |
| 2. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第19 レンチ全景（東） |
| 3. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第20 レンチ全景（西） |

図版11 写真 大滝遺跡

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第24 レンチ全景（西） |
| 2. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第27 レンチ全景（西） |
| 3. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第28 レンチ全景（西） |

図版12 写真 大滝遺跡

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第32 レンチ全景（東） |
| 2. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第34 レンチ全景（東） |
| 3. 大滝遺跡（圃場整備地区） | 第35 レンチ全景（東） |

図版13 写真 大滝島田遺跡

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 大滝島田遺跡（圃場整備地区） | 第4 レンチ全景（東） |
| 2. 大滝島田遺跡（圃場整備地区） | 第6 レンチ全景（東） |
| 3. 大滝島田遺跡（圃場整備地区） | 第9 レンチ全景（東） |

図版14 写真 大滝島田遺跡・中曾根西遺跡・蓑島前川原遺跡

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 大滝島田遺跡（圃場整備地区） | 第13 レンチ全景（西） |
| 2. 中曾根西遺跡（高桑地区） | 第1 レンチ全景（西） |
| 3. 蓑島前川原遺跡（圃場整備地区） | 第1 レンチ全景（西） |

図版15 写真 駒方遺跡・駒方南遺跡

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 駒方遺跡（圃場整備地区） | 第4 レンチ全景（東） |
| 2. 駒方遺跡（圃場整備地区） | 第8 レンチ全景（東） |
| 3. 駒方南遺跡（圃場整備地区） | 第2 レンチ全景（西） |

図版16 写真 越中国府関連遺跡・牧野金屋遺跡

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 越中国府関連遺跡（渡壁地区） | 第1 レンチ全景（東） |
| 2. 牧野金屋遺跡（鈴木地区） | 第1 レンチ全景（西） |
| 3. 牧野金屋遺跡（越後地区） | 第2 レンチ全景（南西） |

第1章 遺跡の位置と歴史的環境

高岡市は富山県の西部に位置し、県内第2位の人口を擁する。市域は東西約24.5km、南北約19.2kmに及び、その面積は富山県域の約5%にあたる209.38km²を呈する。

地形的には山間部のほか、丘陵部や平野部から成り、北部では日本海の富山湾に面する。平野部は北陸有数の穀倉地帯を形成し、古くから舟運や海運の発達を促しうる地勢を有した地域といえる。

市内には庄川と小矢部川が所在する。高岡の平野部はこの2大河川による複合的な扇状地で形成されているが、小矢部川左岸では西山丘陵とよばれる標高300mに満たない丘陵がつらなり、能登半島の宝達山を主峰とする山間部に繋がっている。

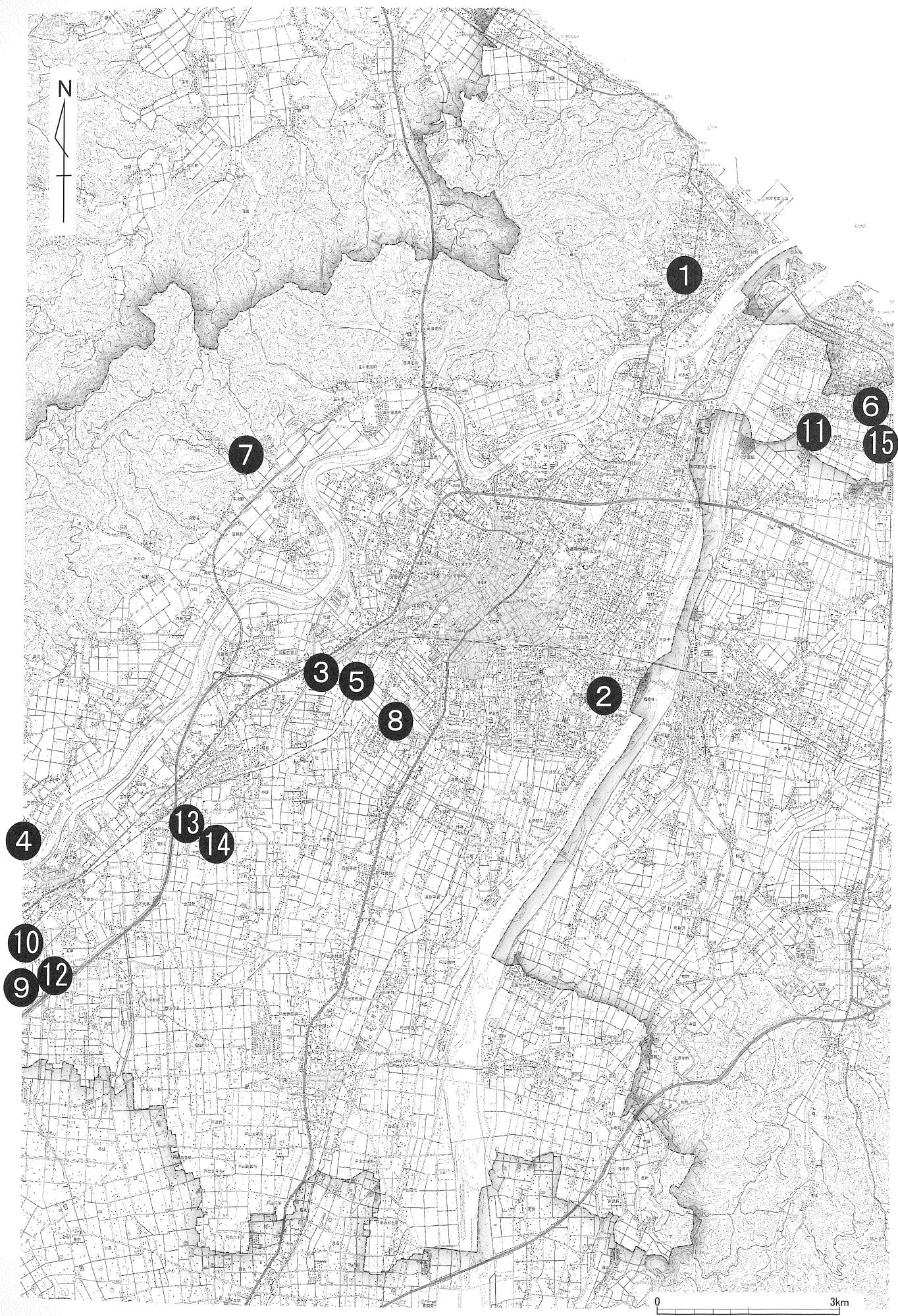
現在、高岡市では341箇所の遺跡が周知されており、その分布状況は、山間部のほか丘陵部や平野部に大別できる。山間部では旧石器時代の遺跡が点在し、縄文時代の遺跡も谷あいの平坦地などで確認されている。丘陵部には古墳群や中世城館などが密集する。また、古代の北陸道は西山丘陵の山麓線沿いにはしっていたとされる。

平野部には、弥生時代を主体とする集落遺跡として県内有数の規模を誇る石塚遺跡や下老子笹川遺跡、古代における官衙的な遺跡とされる東木津遺跡や中保B遺跡、中世の木舟城の城下町遺跡である石名田木舟遺跡など、県内の考古学研究史を語るうえでも欠かすことのできない遺跡が集中している。

東木津遺跡は、庄川扇状地の扇端部に位置し、千保川、祖父川の浸食によって段丘化した佐野台地の北東端部に立地する。東木津遺跡では、古墳時代前期から古代における遺構や遺物が検出されている。特に古代の整然とした建物配置や、土器に占める食膳具の比率の高さ、木簡・墨書き土器・漆紙文書など文字資料の多さから官衙的性格が指摘されている。さらに集落内を流れる溝では、人形・馬形・鳥形・琴柱形・刀子形・斎串などの木製祭祀具が出土しており、それらを使用した律令祭祀が行われた可能性が指摘されている。また、令和元年度の調査区の近くでは、木製祭祀具の工房址が検出されている。今回は、古代の古代の集落に関する遺構を検出するとともに、既往の調査成果と符合する遺物が出土した。

このように歴史的環境を把握するための良好な資料が得られた。

- | | |
|--|---------------------|
| ① 越中国府関連遺跡（伊藤不動産地区、中尾地区、脇本地区、富山地方気象台地区、渡壁地区） | ⑬ 駒方遺跡（圃場整備地区） |
| ② 高岡問屋センター遺跡（北雄ホームサービス地区） | ⑭ 駒方南遺跡（圃場整備地区） |
| ③ 石塚江戸遺跡（石浦地区） | ⑮ 牧野金屋遺跡（鈴木地区、越後地区） |
| ④ 上野A遺跡（福島地区） | |
| ⑤ 上北島遺跡（中村地区） | |
| ⑥ 中曾根北遺跡（古市地区） | |
| ⑦ 岩坪岡田島遺跡（三芝硝材地区） | |
| ⑧ 東木津遺跡（（仮称）南星交番予定地区） | |
| ⑨ 大滝遺跡（圃場整備地区） | |
| ⑩ 大滝島田遺跡（圃場整備地区） | |
| ⑪ 中曾根西遺跡（高桑地区） | |
| ⑫ 蓼島前川原遺跡（圃場整備地区） | |



第1図 調査位置図

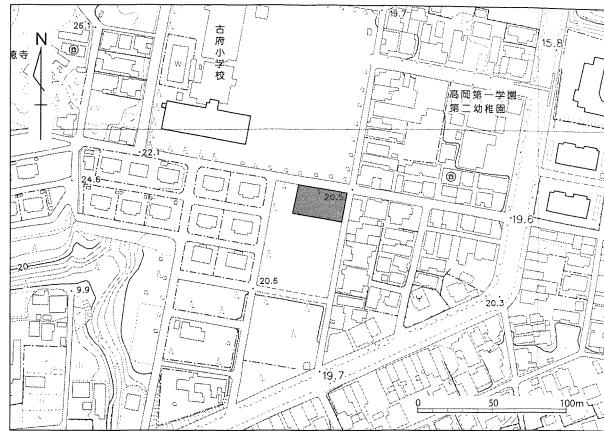
試掘調査

第1表 令和元年度の遺跡調査一覧

No	遺跡名	読み方	所在地	時代	種別	現状
1	越中国府関連遺跡	えっちゅうこくふかんれんいせき	伏木	古代・中世	官衙	宅地・更地
2	高岡問屋セントー遺跡	たかおかとんやせんたーいせき	問屋町	縄文晩期・奈良～平安	散布地	宅地
3	石塚江之戸遺跡	いしづかえのどいせき	上北島・石塚	縄文・古墳・中世	集落	水田・宅地
4	上野A遺跡	うわのえーいせき	上野	縄文前期～中期・弥生・古墳・古代	集落	宅地
5	上北島遺跡	かみきたじまいせき	上北島	平安～中世	散布地	水田
6	中曾根北遺跡	なかそねきたいせき	中曾根	弥生～中世	散布地	水田
7	岩坪岡田島遺跡	いわつぼおかだじまいせき	岩坪	縄文～近世	集落	水田
8	東木津遺跡	ひがしきついせき	木津	弥生～近世	集落・官衙	水田・宅地
9	大滝遺跡	おおたきいせき	大滝	古墳・古代・中世・近世	散布地	水田・宅地
10	大滝島田遺跡	おおたきしまだいせき	大滝	中世・近世	散布地	水田
11	中曾根西遺跡	なかそねにしいせき	中曾根	弥生～中世	集落	水田
12	袁島前川原遺跡	みのじままえがわらいせき	大滝・袁島	弥生・中世・近世	散布地	耕作地
13	駒方遺跡	こまがたいせき	駒方	縄文晩期・古代～中世	散布地	水田
14	駒方南遺跡	こまがたみなみいせき	駒方	中世		市街地・集落・水田
15	牧野金屋遺跡	まきのかなやいせき	牧野金屋	弥生～奈良・中世～近世	散布地	水田

1. 越中国府関連遺跡（伊藤不動産地区）

所 在 地	高岡市伏木矢田上町201番19、20
調査期間	平成31年4月23日
対象面積	1,184m ²
試掘坑	1本
発掘面積	約25.95m ²
調査原因	宅地造成
検出遺構	土坑1基
出土遺物	なし



第2図 越中国府関連遺跡（伊藤不動産地区）

調査区位置図

調査概要

本地点は遺跡の南側に位置する。過年度の試掘調査では、南隣の健美福祉会地区で、遺構は溝、遺物は古代須恵器が検出されている。また、平成30年度に実施した伊藤不動産地区では、土坑1基が検出されている。

調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、東端で地表面下約65cm、標高約20.2mで褐色粘質土の地山を確認した。遺構は土坑1基が検出され、遺物は出土しなかった。

2. 越中国府関連遺跡（中尾地区）

所 在 地	高岡市伏木矢田上町201番18
調査期間	平成31年4月23日
対象面積	約269.65m ²
試掘坑	1本
発掘面積	約13.2m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	なし
出土遺物	なし



第3図 越中国府関連遺跡（中尾地区）調査区位置図

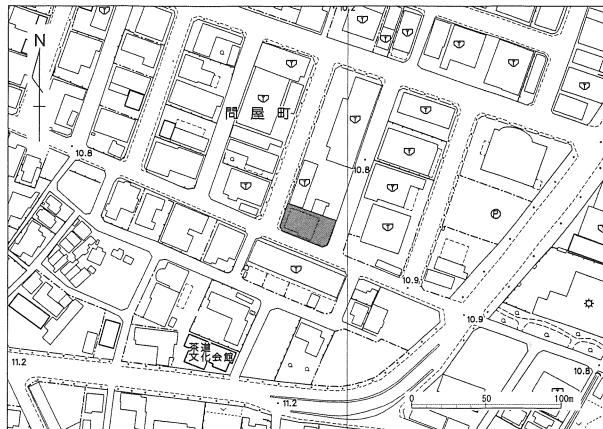
調査概要

本地点は、遺跡の南側に位置する。過年度の試掘調査では、南隣の健美福祉会地区で、遺構は溝、遺物は古代須恵器が検出されている。

調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、西端で地表面下約10cm、標高約21.2m、東端で地表面下約70cm、標高約20.67mで褐色粘質土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

3. 高岡問屋センター遺跡（北雄ホームサービス地区）

所 在 地	高岡市問屋町88
調査期間	令和元年5月9日
対象面積	約643.04m ²
試掘坑	3本
発掘面積	約48.59m ²
調査原因	倉庫建設
検出遺構	土坑3基、溝1条
出土遺物	古代土師器、中世珠洲、時期不明土師器



第4図 高岡問屋センター遺跡

(北雄ホームサービス地区) 調査区位置図

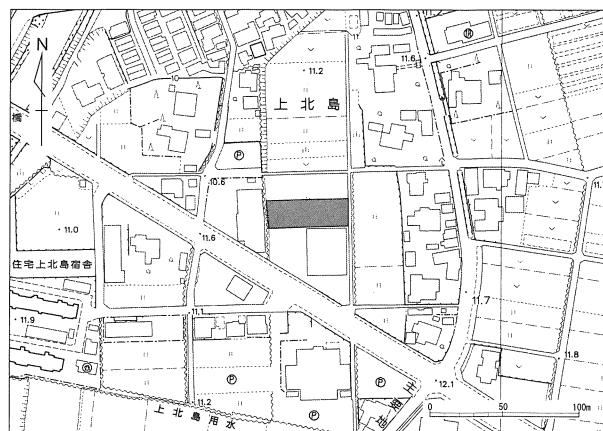
調査概要

本地点は遺跡の中央部に位置する。昭和45年度頃の問屋センター用地の整地工事中に発見された遺跡であり、分布調査の報告書で紹介されるも試掘調査を実施するのは今回が初めてである。昭和45年度の整地工事では縄文土器及び土師器、須恵器が出土している。

調査は対象地に試掘坑を3箇所設定し地下の状況を把握したところ、地表面下約55~40cm、標高約10.2m付近で青灰色砂質土の地山を確認した。遺構は土坑3基、溝1条が検出され、遺物は古代土師器、中世珠洲、時期不明土師器が出土した。

4. 石塚江之戸遺跡（石浦地区）

所 在 地	高岡市上北島236
調査期間	令和元年5月22日
対象面積	918m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約56.16m ²
調査原因	集合住宅建設
検出遺構	溝1条
出土遺物	縄文土器、古墳土師器、中世陶器、近世越中瀬戸



第5図 石塚江之戸遺跡（石浦地区）調査区位置図

本地点は遺跡の隣接地で北東部に位置する。本遺跡は縄文時代後期、古墳時代、中世を主体とする遺跡である。平成8年度の石浦地区では、中世の溝1条、土師器、須恵器、陶磁器が検出されている。

調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し地下の状況を把握したところ、地表面下約30~40cm、標高約10.6~10.7m付近で黄褐色砂質土の地山を確認した。遺構は溝1条が検出され、遺物は縄文土器、古墳土師器、中世陶器、近世越中瀬戸が出土した。

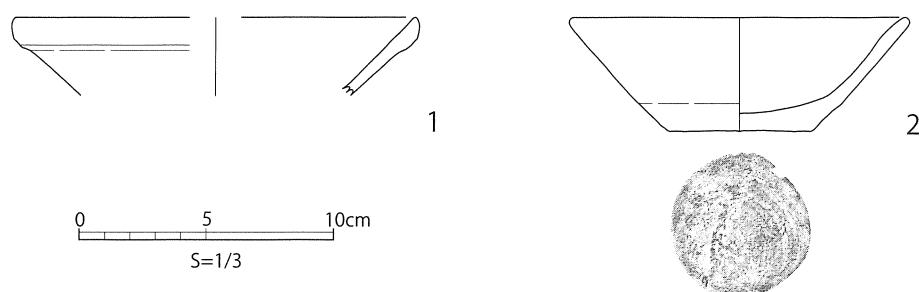
5. 越中国府関連遺跡（脇本地区）

所 在 地	高岡市伏木古国府730、734、735、 740、741-1
調査期間	令和元年6月5日
対象面積	約420.66m ²
試掘坑	1本
発掘面積	約18.36m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	土坑1基
出土遺物	古代須恵器、古代土師器、古代白磁

調査概要

本地点は、遺跡の北東に位置する。過年度の試掘調査では、平成7年度のマイロード地区で、遺構は掘立柱建物跡、勝興寺の旧参道跡、土坑、溝、遺物は古代の須恵器、土師器、陶磁器、瓦、土製品、石製品が出土している。

調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、西端は地表面下約20cm、標高約13.4mで赤褐色砂質土の地山を確認した。東端では、地表面下約55cm、標高約12.64mで黄褐色砂礫土の地山を確認した。遺構は土坑1基が検出され、遺物は、古代須恵器、古代土師器、古代白磁が出土した。出土遺物のうち一部を図示した。1は白磁の碗である。2は古代土師器である。



第7図 越中国府関連遺跡（脇本地区）遺物実測図

6. 上野A遺跡（福島地区）

所 在 地	高岡市福島町上野115番
調査期間	令和元年6月12日
対象面積	約587m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約25.74m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	土坑1基
出土遺物	縄文土器

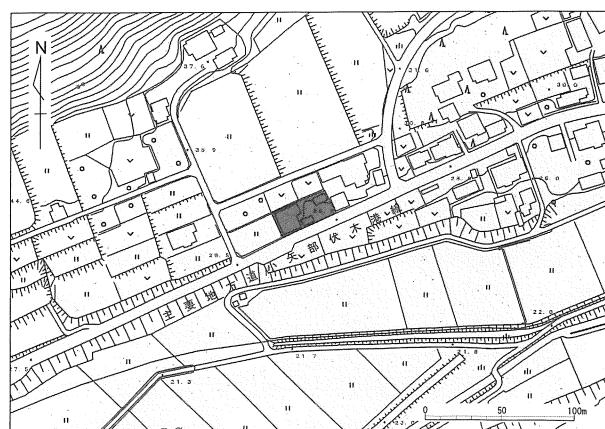
調査概要

本地点は遺跡の西部に位置する。平成27年度の林地区では、遺構・遺物とも検出されていない。しかし、昭和63年度に本発掘調査を実施した北東側の地区では、縄文時代前期の住居跡1棟が検出され、縄文時代前期・中期の土器や石器などが出土している。

調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約8~25cm、標高約28.7~29.1mで黄色粘質土の地山を確認した。遺構は土坑1基が検出され、遺物は縄文土器が出土した。



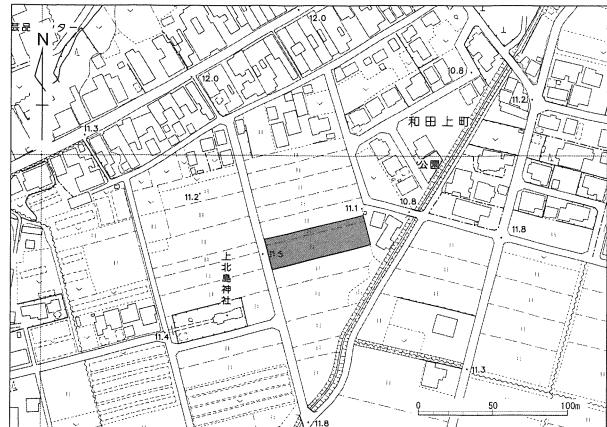
第6図 越中国府関連遺跡（脇本地区）調査区位置図



第8図 上野A遺跡（福島地区）調査区位置図

7. 上北島遺跡（中村地区）

所 在 地	高岡市上北島314番1、316番1
調査期間	令和元年7月24日、25日
対象面積	1,185m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約157.42m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	溝6条
出土遺物	なし



第9図 上北島遺跡（中村地区）調査区位置図

調査概要

本地点は遺跡の隣接地で北東部に位置する。周辺の調査では、弥生～中世の遺物が出土しているが、時期が判明している遺構はない。平成26年度の隣接地の調査では、土坑2基、溝3条が検出されるが、遺物は出土していない。

調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約20cm、標高約10.8m付近で黄褐色砂質土の地山を確認した。遺構は溝6条が検出され、遺物は出土しなかった。

8. 越中国府関連遺跡（富山地方気象台地区）

所 在 地	高岡市伏木古国府12-5
調査期間	令和元年9月5日、6日
対象面積	約7.94m ²
試掘坑	1本
発掘面積	約5.1m ²
調査原因	太陽光パネルの設置
検出遺構	なし
出土遺物	古代土師器



第10図 越中国府関連遺跡（富山地方気象台地区）
調査区位置図

調査概要

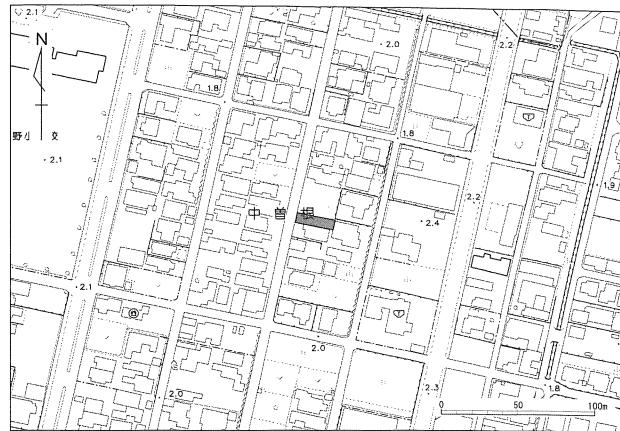
本地点は遺跡の中央に位置し、越中国守館跡推定地とされている。平成2年度に実施した確認調査では、掘立柱建物跡が検出され、平安時代を中心とした遺物が出土している。平成13年度に実施した試掘・本発掘調査では、近世の遺構が検出され、遺物が出土した。

調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約60～80cm、標高約10.5～10.7m付近で黄褐色砂の地山を確認した。また、測候所・露場に設置されたコンクリート基礎が一部確認された。コンクリート基礎は、中央気象台伏木観測所時代の昭和14年撮影写真にある百葉箱に向かう通路跡と考えられる。

遺構は検出されず、遺物は古代土師器が出土した。出土遺物は9世紀のものであり、既往の調査と同様である。

9. 中曾根北遺跡（古市地区）

所 在 地	高岡市中曾根165番地1
調査期間	令和元年11月11日
対象面積	約249.97m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約18m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	なし
出土遺物	なし



第11図 中曾根北遺跡（古市地区）調査区位置図

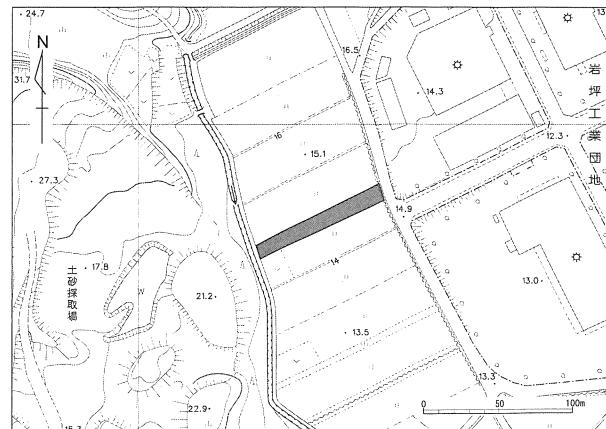
調査概要

本地点は遺跡の中央部に位置する。遺物が表面採集されているが、試掘調査で出土した遺物は時期不明土師器のみで、遺構は検出されていない。

調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約100~110cm、標高約0.8~0.9m付近で緑灰色粘質土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

10. 岩坪岡田島遺跡（三芝硝材地区）

所 在 地	高岡市国吉1935-1
調査期間	令和元年12月24日、25日
対象面積	1,339m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約158.4m ²
調査原因	資材置場建設
検出遺構	なし
出土遺物	なし



第12図 岩坪岡田島遺跡（三芝硝材地区）調査区位置図

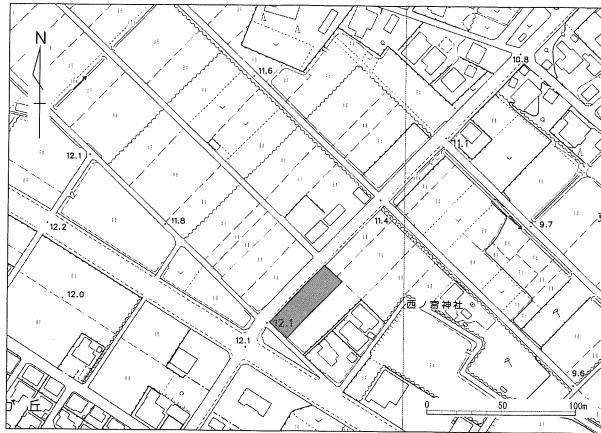
調査概要

本地点は遺跡の北側に位置する。過年度の試掘調査では、三芝硝材地区の本発掘調査では、遺構は古代・中世の掘立柱建物や溝が検出され、縄文～中世の幅広い時代の遺物が出土している。

調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約30~40cm、標高約14.0~14.5m付近で灰色粘土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

11. 東木津遺跡 ((仮称) 南星交番予定地区)

所 在 地	高岡市木津1076番1
調 査 期 間	令和元年12月24、25日
対 象 面 積	547m ²
試 掘 坑	1本
発 掘 面 積	約60.23m ²
調 査 原 因	交番建設
検 出 遺 構	溝4条、土坑15基
出 土 遺 物	縄文土器、古代土師器、古代須恵器、中世珠洲



第13図 東木津遺跡 ((仮称) 南星交番予定地区)

調査区位置図

調査概要

本地点は遺跡の中央部に位置する。本地点周辺では平成18年度の市道清水町三丁目西藤平蔵線拡幅工事に伴う本発掘調査が実施されている。本発掘調査では、木製品制作や漆塗りに関わる堅穴建物跡が検出されるとともに、大量の遺物が出土している。

調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約25~30cm、標高約11.2mで黄褐色砂質土または砂の地山を確認した。遺構は溝4条、土坑15基が検出され、遺物は縄文土器、古代土師器、古代須恵器、中世珠洲が出土した。出土遺物のうち一部を図示した。3は古代須恵器の蓋である。4は古代須恵器の杯である。

土坑の中でもSK13は埋土が黒褐色粘質土であり、埋土には古代須恵器が含まれていることから、古代の遺構と考えられる。古代須恵器の年代は、8世紀終わりから9世紀代と考えられ、既往の東木津遺跡の成果とも符合する。SD04より北東側では、旧地形が若干下がっており、そこまでが遺構の広がる範囲であると考えられる。

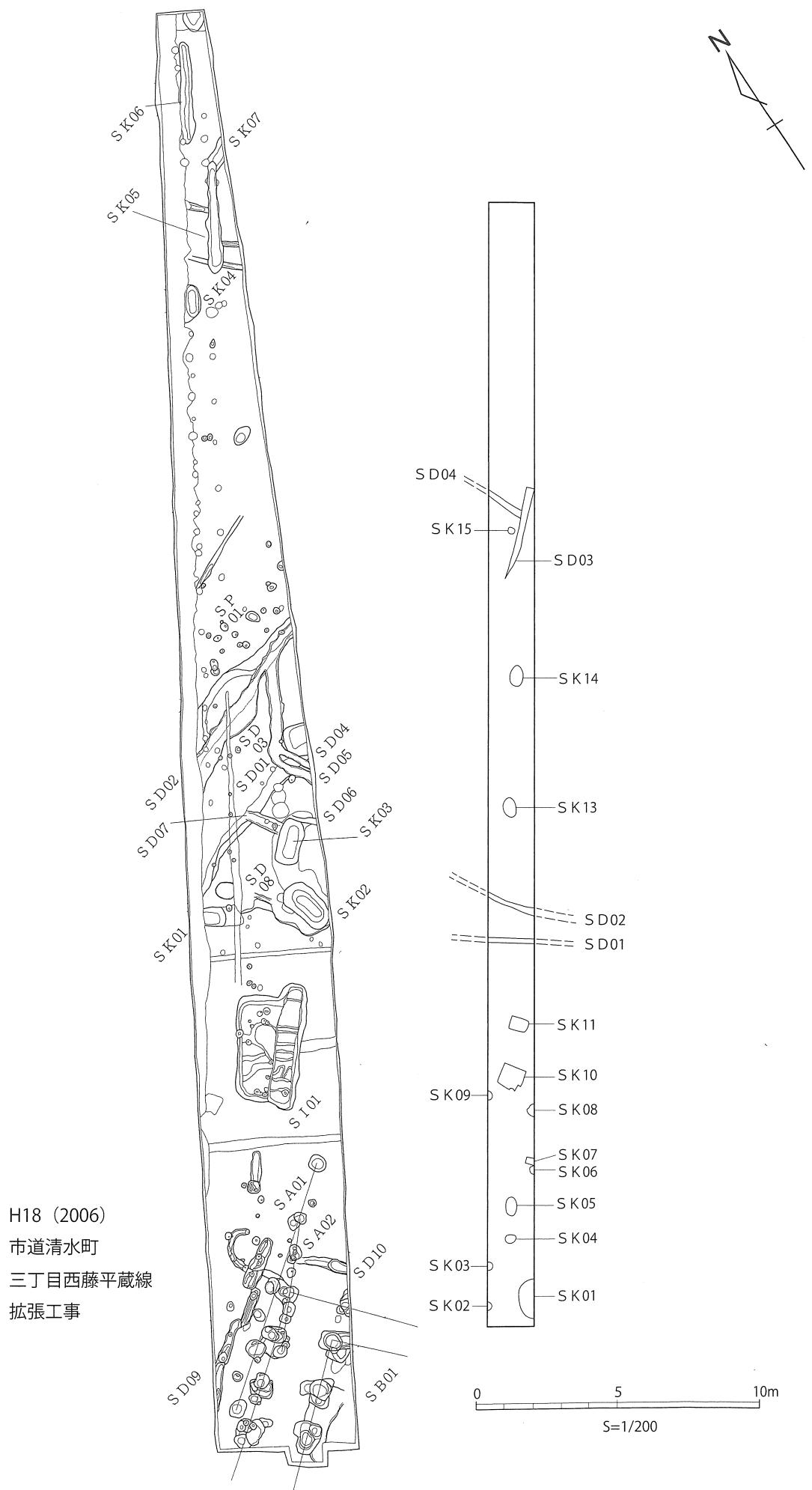
東木津遺跡における区画は、「98都市計画道路地区」で提示され、「06市道拡幅地区」でまとめられている。これらは、木製祭祀具が出土した橋梁護岸施設に伴う溝や、道路1及び道路2に伴う溝以外に、北東～南西及びこれに直交する状態で北西～南東方向に走向する比較的小規模な溝があることに注目し、概ねN - 45° - Wの方位に約52m間隔の区割りがあった可能性を指摘している。

この区画案に従えば本地点は、N・J区画にわたることになる。N区画は、木製祭祀具の工房跡のような手工業生産に関する空間であり、J区画は、側柱の掘立柱建物跡が検出されており、建物の空間であると考えられている。本地点では、検出された15基の土坑の中でもSK01～SK11は、掘立柱建物跡もしくは柵址になる可能性があり、計画的な区画を持った建物の空間と推測される。

東木津遺跡は、出土した遺物から8世紀後半（750年頃）～9世紀前半（850年頃）の約100年間という限定された期間に営まれた集落であるされており、この約100年間は、歴史的な動きが活発になるため、以下に主要な事柄を挙げる。

天平13年（741）	2月 国分寺建立の詔、12月 能登国を越中国に併合
天平15年（743）	5月 墾田永年私財法、10月 大仏建立の詔
天平18年（746）	大伴家持が越中国守に着任（天平勝宝2（750）まで）
天平19年（747）	9月 利波臣志留志が大仏の知識として米3,000碁を献上
天平勝宝元年（749）	寺院墾田地許可令
天平勝宝4年（752）	東大寺大仏開眼会
天平宝字元年（757）	能登国を越中国から分立

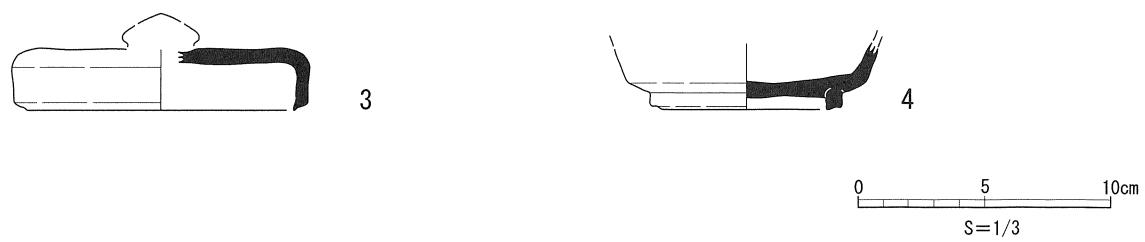
上記のように、聖武天皇による国分寺、大仏建立に伴い、越中の初期荘園が発生しており、遺跡の存続期間と一致し、遺構や遺物からも官衙的な性格を確認することができ、「付札木簡」の出土から、東木津遺跡は、越中国府と約8.5km離れた佐野台地上で、射水郡の荘園で収穫された租（米）を徴収し、中央へ送るための集落であったと想定される。



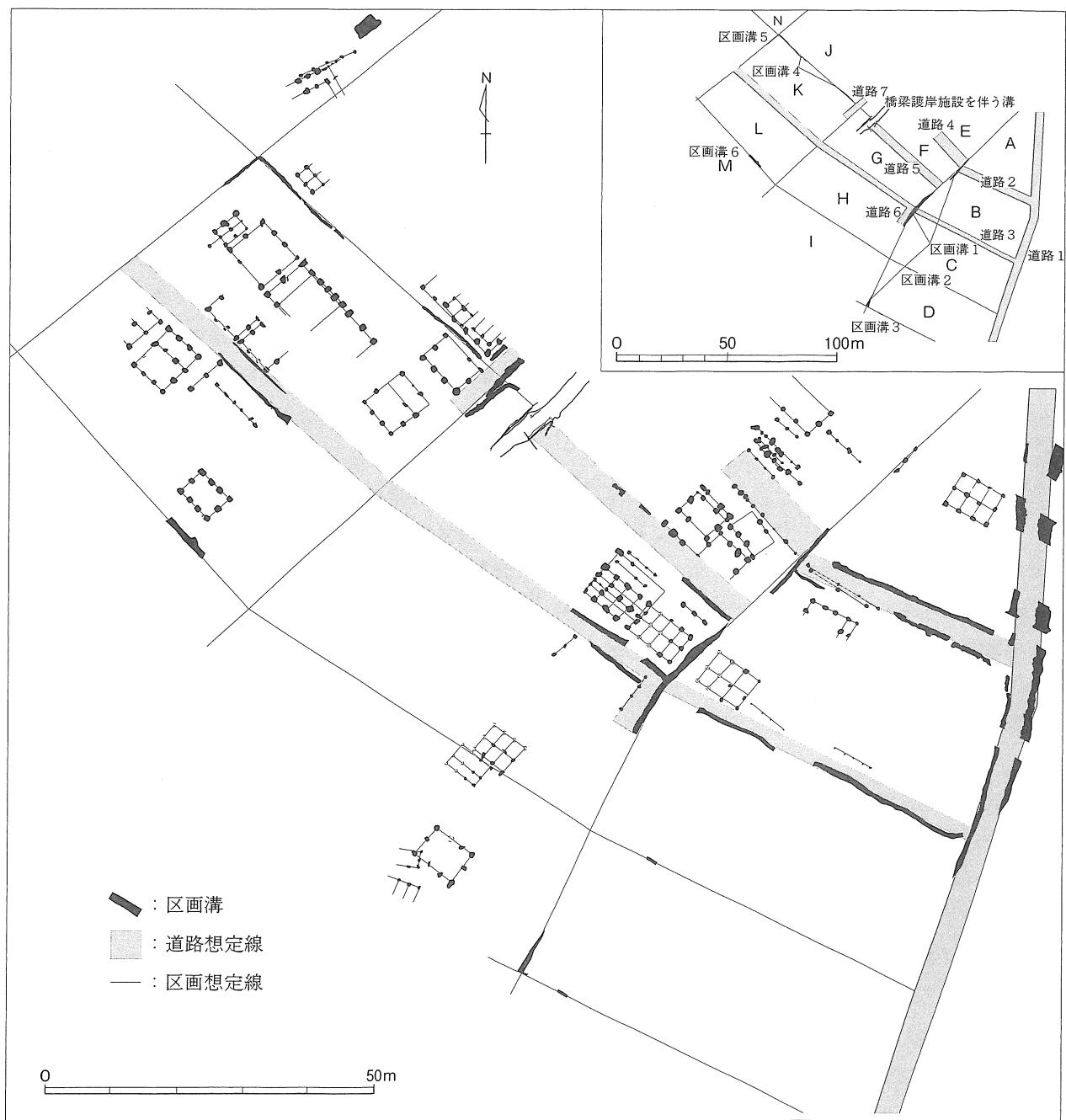
第14図 東木津遺跡 ((仮称) 南星交番予定地区) 遺構実測図



第15図 東木津遺跡 既往の主な調査地区 (1/1,000)



第16図 東木津遺跡 ((仮称) 南星交番予定地区) 遺物実測図



第17図 東木津遺跡における道路・土地区画想定模式図 (1/1,000)

木製祭祀具・人面墨書き土器から見た東木津遺跡と周辺遺跡の位置付け

律令制の時代には、病気や厄災、さらには日常の安全を脅かすものを外に追い払い、入り込むのを防ぐため、様々な祭祀があった。東木津遺跡では木製祭祀具が出土しており、東木津遺跡SD60・SX06の木製祭祀具とSD60出土の墨書き土器「悔過」の存在などから、村落祭祀の可能性が指摘されていた（高岡市2001b）。

近年、下佐野遺跡・石名瀬A遺跡・諏訪遺跡など、佐野台地の各遺跡の古代・律令期祭祀遺物の出土状況から、東木津遺跡周辺を一体的な遺跡と捉えることで祭祀の主体者が国府や郡家とする説（堀沢2013）や、各遺跡の溝や自然流路によるつながりを指摘する説があり（岡田2015）、複数遺跡に跨った祭祀場を形成していたと考えられるようになった。

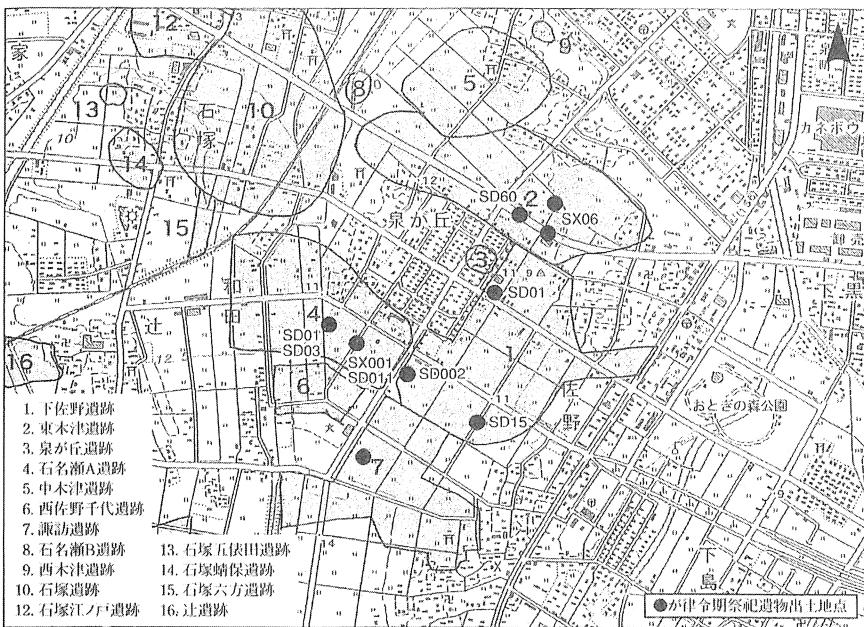
東木津遺跡の周辺遺跡で出土する律令期祭祀遺物に注目して分類すると、木製祭祀具のみ出土する東木津遺跡と諏訪遺跡、そして木製祭祀具と人面墨書き土器の双方を伴う下佐野遺跡・石名瀬A遺跡の大きく2つのセット関係で分けられる。堀沢氏の指摘では、人面墨書き土器と木製祭祀具がセット関係で出土する場合、祭祀の主体者は国府や郡家と考えられている（堀沢2013）。加えて、平成18年調査の清水町三丁目地区SI01溝状土坑第1面の発見から、斎串製作の一端が見え、東木津遺跡周辺の祭祀に使用された斎串の製作から祭祀使用までの一貫性が想定できるようになった。

類似例として、越中国府の祭祀場として推定されている射水市北高木遺跡・荒畠遺跡溝SD01の出土状況がある。8世紀末から9世紀初頭の人面墨書き土器・木製祭祀具のセット関係に加え、出拳木簡の出土が見える。また、「庄」墨書き土器の出土と西大寺中野荘の推定地の射水市中野に近いことから荘園に関連しているとする説もある（青木ほか1995）。他国の例では、国府関係では下総国府と北下遺跡、播磨国府・但馬国府付近、郡衙関係では遠江郡敷地郡衙（伊場遺跡群）で、境界付近の湧水や河道から祭祀具の出土例がある。

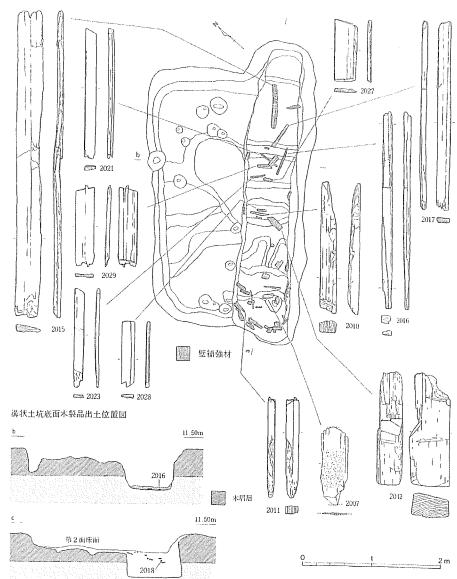
上記のことから、東木津遺跡を含む4遺跡で出土する祭祀具は、射水郡と礪波郡の郡境付近で実施した道饗祭に関わる遺物の可能性があり、セット関係から見ると、国府や郡家が祭祀主体者として関与し、祭祀の場の統制・管理があったと考えられる。これらの成果は、佐野台地を通る北陸新幹線や主要幹線道路整備に伴う大規模発掘調査の成果から判明したことであり、今後も各遺跡の位置付けの検討を続けたい。

東木津遺跡周辺律令期祭祀遺物出土地点一覧表 ※堀沢2013、各報告書記載内容を基に作成

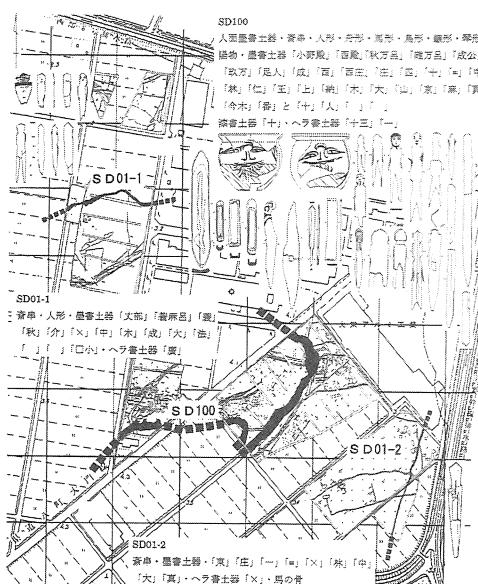
遺跡名	遺構名・地区名	時期	祭祀具	人面墨書き	墨書き土器・木簡
東木津 遺跡	清水町三丁目 SI01 溝状土坑第1面	8C 後半～9C 前半	斎串（未製品）	-	漆容器蓋紙
	都市計画道路溝 SD60	8C 後半～9C 前半	斎串、人形、刀形、琴形	-	墨書き土器95、ヘラ書61、銚帶、銅錢付札木簡、漆紙文書等
	都市計画道路・堀井湿地 SX06	8C 後半～9C 前半	人形、斎串、舟形、馬形、鳥形、琴柱形、刀子形	-	墨書き土器多数、ヘラ書、「氣多神宮寺」木簡等
下佐野 遺跡	豊原地区溝 SD01	8C 後半～10C 前半	8C末：人形	-	墨書き土器、木簡、瓦塔等
	県道地区溝 SD02	8C中～10C	8C中～末：多量	9C末：1	墨書き土器「成継」「万カ呂カ」等
	県道地区溝 SD15	9C前半	-	2	墨書き土器「曹司」等
石名瀬 A遺跡	9区溝 SD01・03	8C 後半～9C	斎串、人形など	1	墨書き土器「西家」
	10・11区 SX01・溝 SD11	8C 後半～9C	斎串、人形など	5	
諏訪遺跡	溝 SD23		人形	-	和銅開珎1
(参考)	射水市北高木・荒畠遺跡溝 SD01	8C末～9C初	斎串、人形、馬形、鳥形、舟形、鎌形、琴形	5	墨書き土器多数、出拳木簡、習書木簡、版木状木簡等



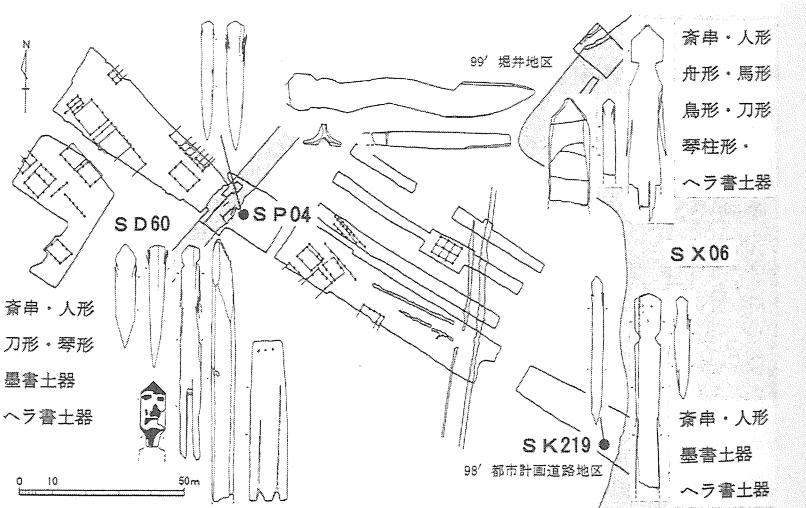
東木津遺跡周辺律令期祭祀遺物出土位置 (1:25,000) (堀沢2013)



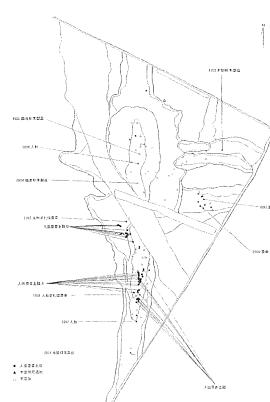
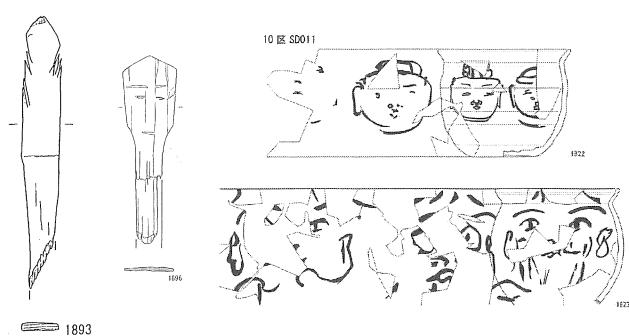
東木津遺跡清水三丁目SI01 溝状土坑
第1面 (高岡市教育委員会2007)



北高木・荒畠遺跡律令期祭祀遺物
出土位置 (堀沢2005)



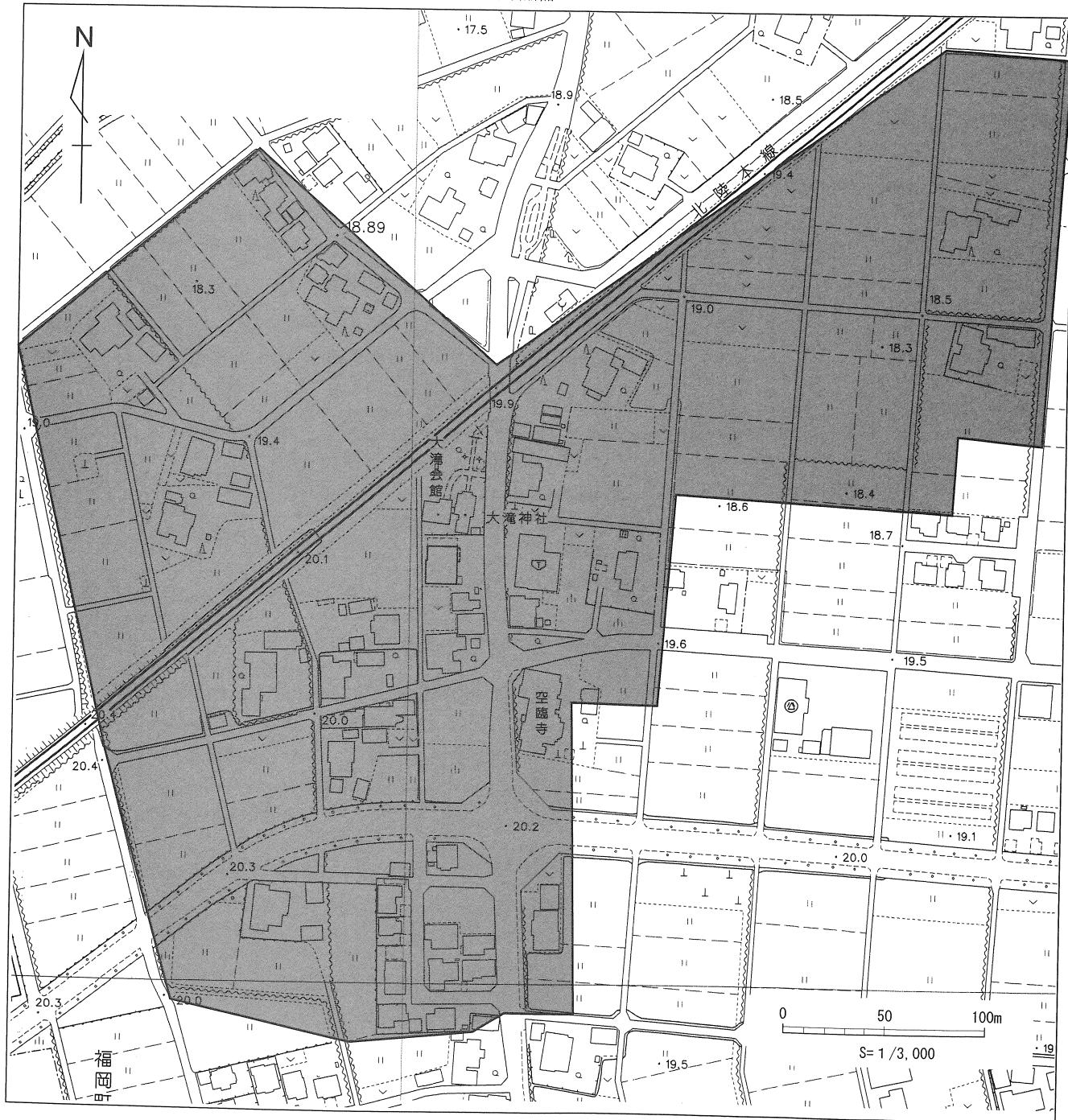
東木津遺跡周辺律令期祭祀遺物出土位置 (堀沢2005)



石名瀬A 遺跡10区溝SD11 出土遺物 (高岡市教育委員会2012)

12. 大滝遺跡（圃場整備地区）

所 在 地	高岡市福岡町大滝501外70筆
調 査 期 間	令和2年1月15~17日、21~23日、29~31日、2月13~14日、17~21日、25~28日、3月2、4~6日、9~11日
対 象 面 積	73,421m ²
試 堀 坑	37本
発 掘 面 積	約839.19m ²
調 査 原 因	圃場整備
検 出 遺 構	なし
出 土 遺 物	古墳土師器、古代須恵器、中世土師器、中世珠洲、中世瀬戸、中世青磁、近世越中瀬戸、近世瀬戸、近世陶器、近世磁器、近世陶磁器

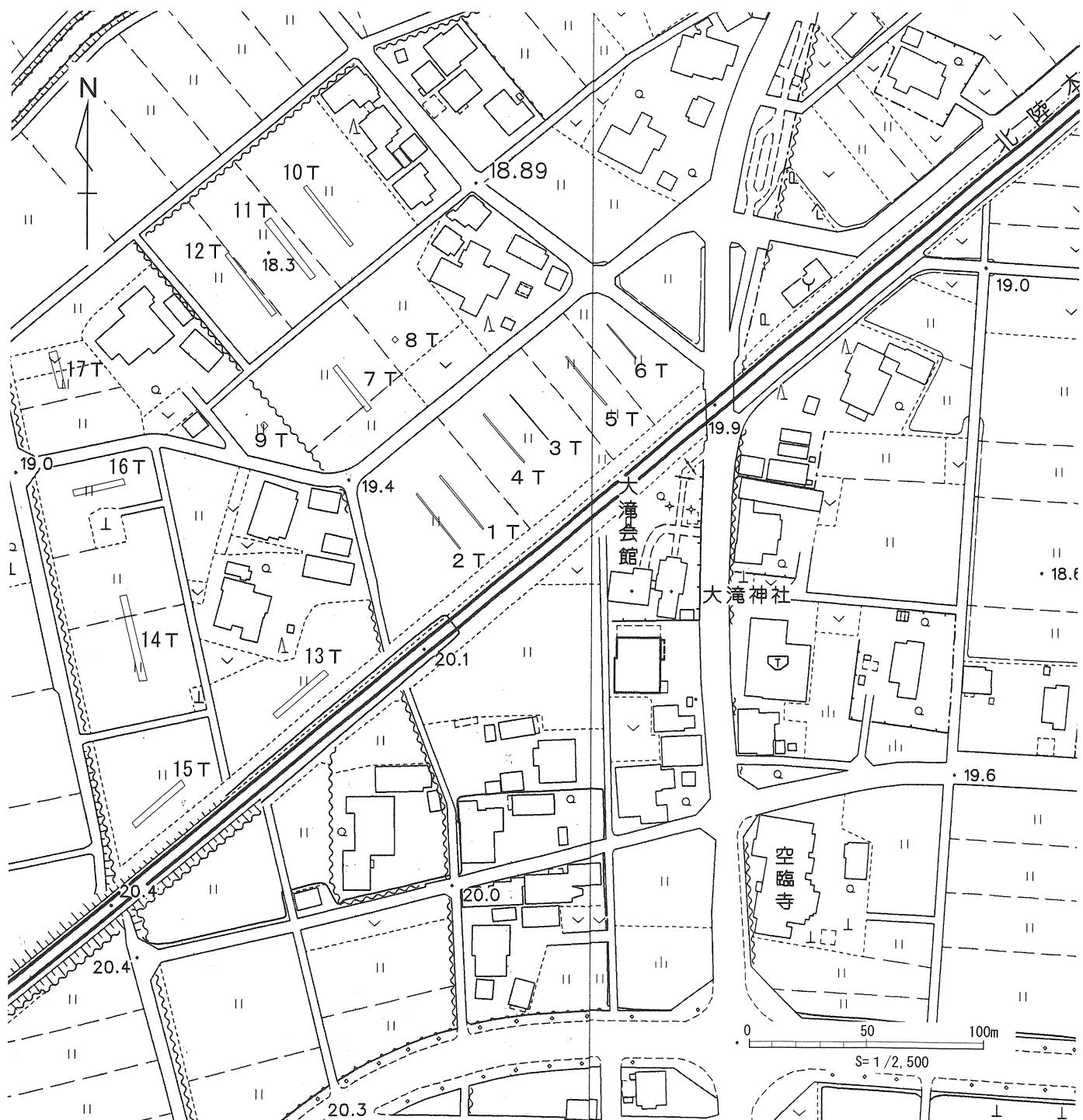


第18図 大滝遺跡（圃場整備地区）調査区位置図

調査概要

本遺跡は、平成5年度に富山県による試掘調査が実施されたが遺構・遺物は出土していない。その後、平成9～11年度にかけて圃場整備による試掘調査が福岡町教育委員会によって実施された。遺構・遺物は検出されているが、保護措置を要するものは検出されていない。平成14年度の分布調査によって範囲が修正され、今回の圃場整備によって試掘調査の対象となった。平成29年度に試掘調査を実施したが、部分的なもの（坪堀り）で詳細は不明である。

対象地に試掘坑を37箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約15～60cm、標高約17.3～18.8m付近で黄褐色砂質土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は古墳土師器、古代須恵器、中世土師器、中世珠洲、中世瀬戸、中世青磁、近世越中瀬戸、近世瀬戸、近世陶器、近世磁器、近世陶磁器が出土した。



第19図 大滝遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図1



第20図 大滝遺跡（圍場整備地区）トレンチ位置図2

13. 大滝島田遺跡（圃場整備地区）

所 在 地 高岡市福岡町大滝1090外36筆
調 査 期 間 令和元年11月1日～令和2年3月30日
対 象 面 積 31,818m²
試 堀 坑 16本
発 堀 面 積 約455m²
調 査 原 因 圃場整備
検 出 遺 構 溝6条、畝1条、土坑2基
出 土 遺 物 古墳～古代土師器、古代須恵器、中世珠洲、中世越前、中世青磁、近世越中瀬戸、近世備前陶器、近世鉄製品、古代木製品、中～近世木製品、中～近世漆器椀



第21図 大滝島田遺跡（圃場整備地区）調査区位置図

調査概要

本遺跡は、平成9年度の分布調査で確認され、平成29年度に試掘調査を実施したが、部分的なもの（坪掘り）で詳細は不明である。

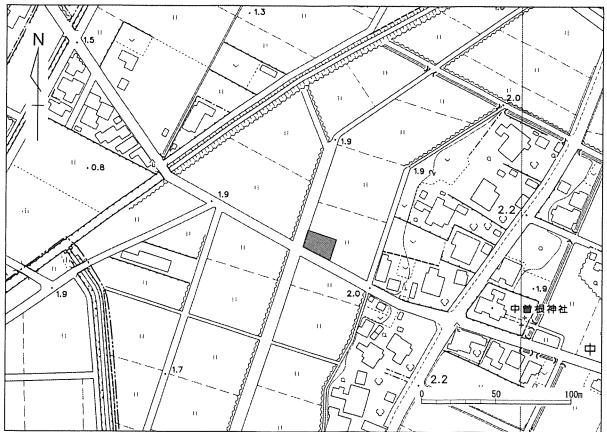
対象地に試掘坑を16箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約20～52cm、標高約19.2～19.97m付近で褐色灰色細砂もしくは粗礫～粗石の砂混じり礫の地山を確認した。遺構は溝6条、畝1条、土坑2基が検出され、遺物は古墳～古代土師器、古代須恵器、中世珠洲、中世越前、中世青磁、近世越中瀬戸、近世備前陶器、近世鉄製品、古代木製品、中～近世木製品、中～近世漆器椀が出土した。



第22図 大滝島田遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図

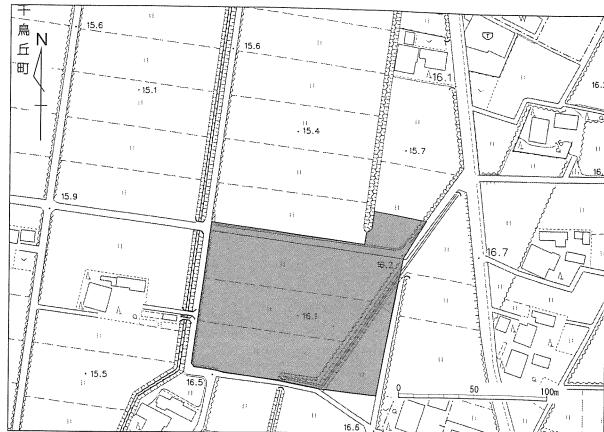
14. 中曾根西遺跡（高桑地区）

所 在 地	高岡市中曾根552番1
調査期間	令和2年1月30日
対象面積	269m ²
試掘坑	1本
発掘面積	約18m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	なし
出土遺物	なし



16. 駒方遺跡（圃場整備地区）

所 在 地	高岡市駒方136、立野1299-1外5筆
調査期間	令和2年2月27日、28日、3月11~13日、16~17日
対象面積	11,879m ²
試掘坑	8本
発掘面積	約347.5m ²
調査原因	圃場整備
検出遺構	なし
出土遺物	縄文土器、弥生土器、中世土師器、中世青磁碗、近世越中瀬戸、時期不明土製品（土錐）



第25図 駒方遺跡（圃場整備地区）調査区位置図

調査概要

本地点は遺跡の中央から南側に位置する。

対象地に試掘坑を8箇所設定し地下の状況を把握したところ、地表面下約30~40cm、標高約15.2~15.4mで灰色粘土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は縄文土器、弥生土器、中世土師器、中世青磁碗、近世越中瀬戸、時期不明土製品（土錐）が出土した。



第26図 駒方遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図

17. 駒方南遺跡（圃場整備地区）

所 在 地	高岡市駒方169-1 外14筆
調 査 期 間	令和2年3月17日、18日
対 象 面 積	10,403m ²
試 掘 坑	2本
発 掘 面 積	約27.24m ²
調 査 原 因	圃場整備
検 出 遺 構	なし
出 土 遺 物	中世珠洲、時期不明土師器

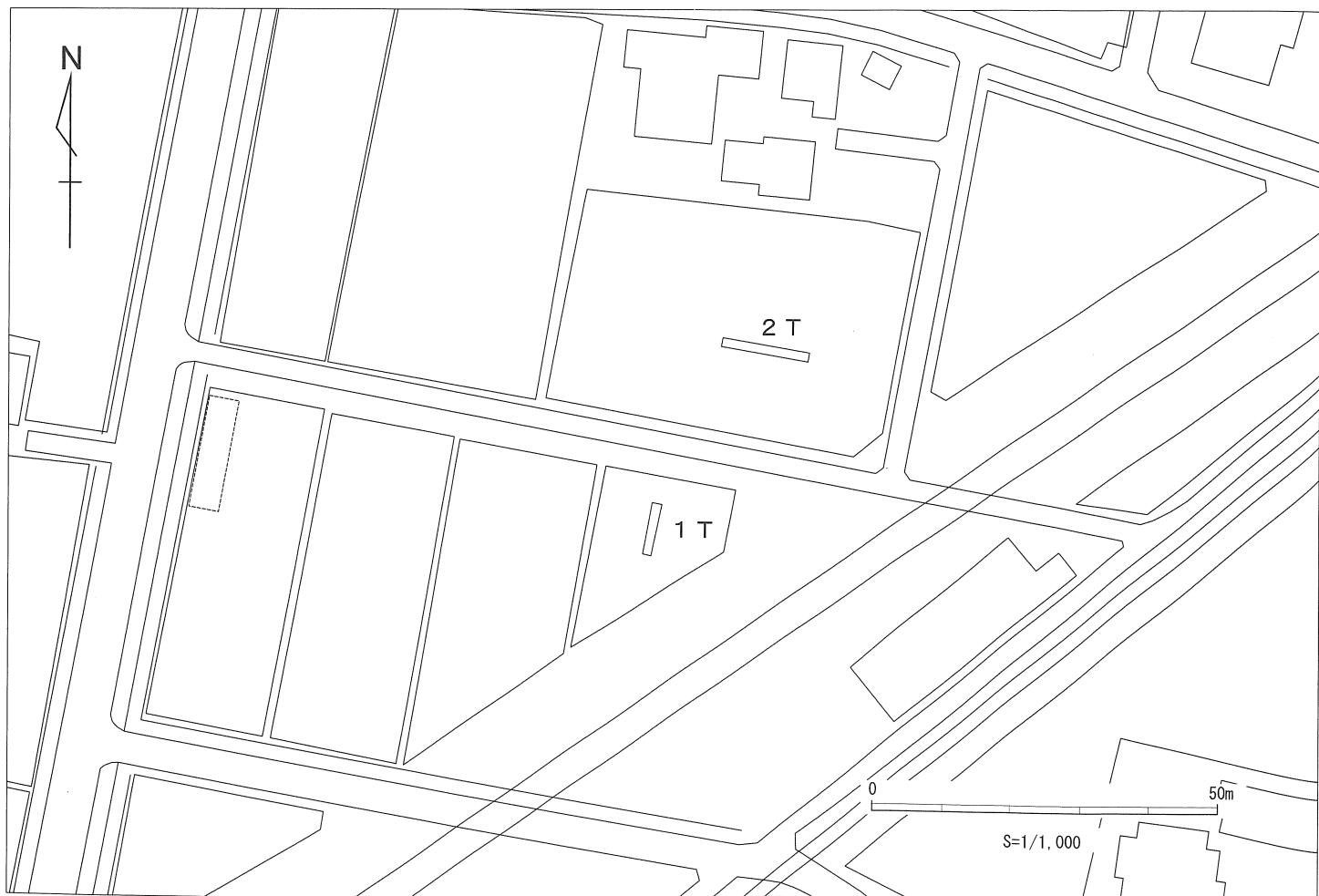


第27図 駒方南遺跡（圃場整備地区）調査区位置図

調査概要

本地点は遺跡の中央に位置する。

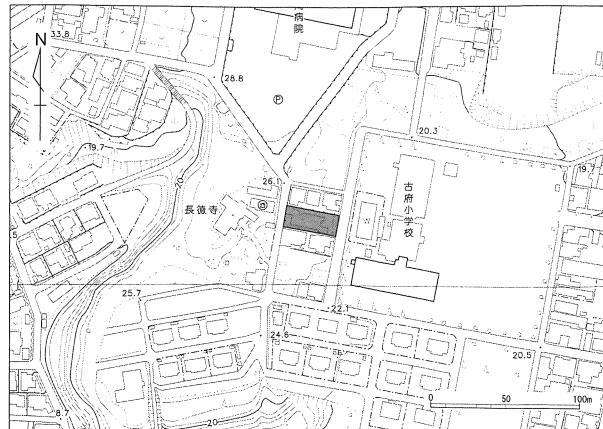
本調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約25~45cm、標高約15.8~16m付近で黄褐色砂質土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は、中世珠洲、時期不明土師器が出土した。



第28図 駒方南遺跡（圃場整備地区）トレンチ位置図

18. 越中国府関連遺跡（渡壁地区）

所 在 地	高岡市伏木古府元町462番2、 462番3、462番4
調査期間	令和2年3月23日、24日
対象面積	561m ²
試掘坑	1本
発掘面積	約29.25m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	なし
出土遺物	なし



第29図 越中国府関連遺跡（渡壁地区）調査区位置図

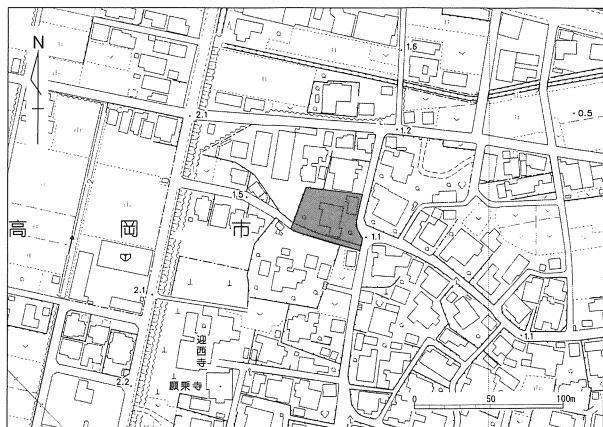
調査概要

本地点は遺跡の南側に位置する。本地点周辺では試掘調査が実施されているが、本地点南東側の角納地区では遺構は確認されていないが、古代の遺物が多く出土している。北西側のオダケホーム地区では、古墳後期～古代の遺構・遺物が検出されている。

調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約80cm、標高約23.1～23.6m付近で褐色粘土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

19. 牧野金屋遺跡（鈴木地区）

所 在 地	高岡市姫野字反官免152-2、153、162
調査期間	令和2年3月26日、30日
対象面積	864.2m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約15.2m ²
調査原因	駐車場建設
検出遺構	なし
出土遺物	なし



第30図 牧野金屋遺跡（鈴木地区）調査区位置図

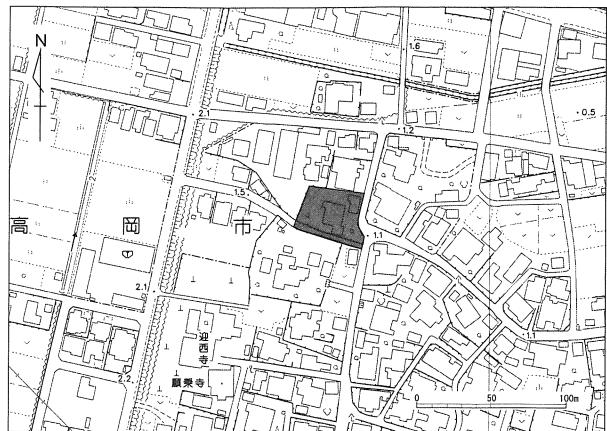
調査概要

本地点は遺跡の北東部に位置する。分布調査では古代と中世の遺物が表面採集されているが、試掘調査では遺構等の確認はない。

調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約100～120cm、標高0.1～0.3m付近で青色砂、青色粘質土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

20. 牧野金屋遺跡（越後地区）

所 在 地	高岡市姫野字反官免150-1、152-1、 152-3、151-1
調査期間	令和2年3月26日、30日
対象面積	864.2m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約39.3m ²
調査原因	宅地造成
検出遺構	なし
出土遺物	なし



第31図 牧野金屋遺跡（越後地区）調査区位置図

調査概要

本地点は遺跡の北東部に位置する。分布調査では古代と中世の遺物が表面採集されているが、試掘調査では遺構等の確認はない。

調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約100~120cm、標高0.1~0.3m付近で青色砂、青色粘質土の地山を確認した。遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

参考文献

- | | |
|--------------|---|
| 青木一彦ほか | 1995 「射水平野の遺跡－古代北陸道を探る」『大境』第18号 富山考古学会 |
| 岡田一広 | 2015 「奈良平安時代における水運の様相」『大境』第34号 富山考古学会 |
| 高岡市教育委員会 | 1988 『越中国府関連遺跡調査概報II』 |
| 高岡市教育委員会 | 1997 『市内遺跡調査概報VI』 |
| 高岡市教育委員会 | 1999 『市内遺跡調査概報IX』 |
| 高岡市教育委員会 | 2000 『市内遺跡調査概報X』 |
| 高岡市教育委員会 | 2001a 『市内遺跡調査概報XI』 |
| 高岡市教育委員会 | 2001b 『石塚遺跡・東木津遺跡調査報告』 |
| 高岡市教育委員会 | 2002 『中保B遺跡調査報告』 |
| 高岡市教育委員会 | 2003a 『市内遺跡調査概報XIII』 |
| 高岡市教育委員会 | 2003b 『東木津遺跡調査概報II』 |
| 高岡市教育委員会 | 2005 『市内遺跡調査概報XV』 |
| 高岡市教育委員会 | 2007 『東木津遺跡調査報告』 |
| 高岡市教育委員会 | 2009 『市内遺跡調査概要XVII』 |
| 高岡市教育委員会 | 2010a 『市内遺跡調査概報XIX』 |
| 高岡市教育委員会 | 2010b 『中曾根西遺跡調査報告II』 |
| 高岡市教育委員会 | 2011 『市内遺跡調査概報XX』 |
| 高岡市教育委員会 | 2012a 『石名瀬A遺跡発掘調査報告』 |
| 高岡市教育委員会 | 2012b 『市内遺跡調査概報XXI』 |
| 高岡市教育委員会 | 2013 『市内遺跡調査概報XXII』 |
| 高岡市教育委員会 | 2014 『市内遺跡調査概報XXIII』 |
| 高岡市教育委員会 | 2015 『市内遺跡調査概報24』 |
| 高岡市教育委員会 | 2016 『市内遺跡調査概報25』 |
| 高岡市教育委員会 | 2017 『市内遺跡調査概報26』 |
| 高岡市教育委員会 | 2018 『市内遺跡調査概報27』 |
| 中世土器研究編 | 1995 『概説 中世の土器・陶磁器』真陽社 |
| 富山県埋蔵文化財センター | 2011 『富山県高岡市下佐野遺跡発掘調査報告書』 |
| 堀沢祐一 | 2005 『越中国における律令祭祀具と墨書き土器について』『大境』第25号 富山考古学会 |
| 堀沢祐一 | 2013 『古代越中国の人面墨書きについて』『高岡市万葉歴史館紀要』第23号 高岡市万葉歴史館 |
| 山路直充 | 2020 『第3章 手児奈と孝標女－国府の景観とみち』『市川市史』歴史編3 市川市 |

写 真 図 版

図版〇一 写真 越中国府関連遺跡・高岡問屋センター遺跡



1. 越中国府関連遺跡
伊藤不動産地区
第1トレンチ全景（東）



2. 越中国府関連遺跡
中尾地区
第1トレンチ全景（西）



3. 高岡問屋センター遺跡
北雄ホームサービス地区
第1トレンチ全景（北西）

図版〇二 写真 高岡問屋センター遺跡・石塚江之戸遺跡



1. 高岡問屋センター遺跡
北雄ホームサービス地区
第2トレンチ全景（北西）



2. 高岡問屋センター遺跡
北雄ホームサービス地区
第3トレンチ全景（北西）

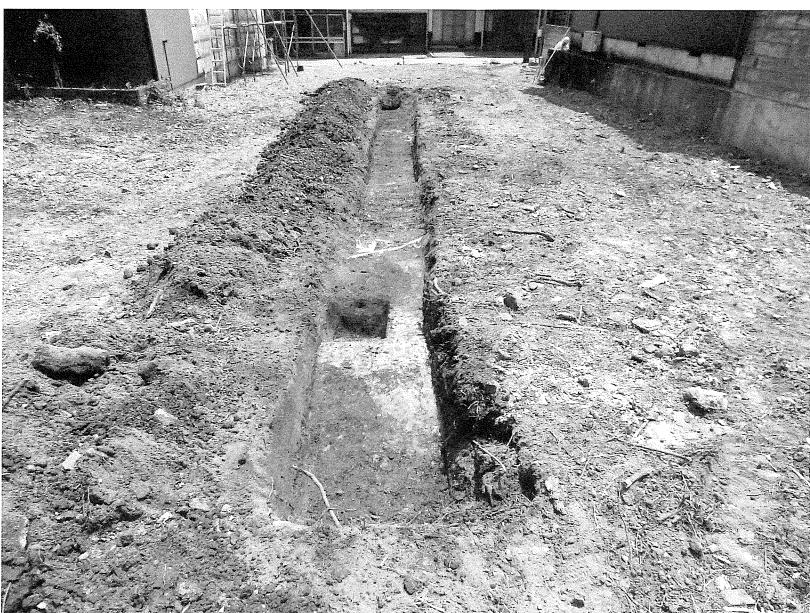


3. 石塚江之戸遺跡
石浦地区
第1トレンチ全景（東）

図版〇三 写真 石塚江之戸遺跡・越中国府関連遺跡・上野A遺跡



1. 石塚江之戸遺跡
石浦地区
第2トレンチ全景（東）



2. 越中国府関連遺跡
脇本地区
第1トレンチ全景（西）



3. 上野A遺跡
福島地区
第1トレンチ全景（西）

図版〇四 写真
上野A遺跡・上北島遺跡



1. 上野A遺跡
福島地区
第2トレンチ全景（西）



2. 上北島遺跡
中村地区
第1トレンチ全景（東）



3. 上北島遺跡
中村地区
第2トレンチ全景（東）



1. 越中国府関連遺跡
富山地方気象台地区
第1トレンチ全景（南東）



2. 中曾根北遺跡
古市地区
第1トレンチ全景（西）



3. 中曾根北遺跡
古市地区
第2トレンチ全景（南西）

図版〇六 写真 岩坪岡田島遺跡・東木津遺跡



1. 岩坪岡田島遺跡
三芝硝材地区
第1トレンチ全景（東）



2. 岩坪岡田島遺跡
三芝硝材地区
第2トレンチ全景（西）



3. 東木津遺跡
(仮称) 南星交番予定地区
第1トレンチ全景（南西）



1. 大滝遺跡
圃場整備地区
第1トレンチ全景（南東）



2. 大滝遺跡
圃場整備地区
第2トレンチ全景（南東）



3. 大滝遺跡
圃場整備地区
第5トレンチ全景（南東）



1. 大滝遺跡
圃場整備地区
第6トレンチ全景（南東）



2. 大滝遺跡
圃場整備地区
第10トレンチ全景（南東）



3. 大滝遺跡
圃場整備地区
第11トレンチ全景（北西）

図版〇九
写真 大滝遺跡



1. 大滝遺跡
圃場整備地区
第12トレンチ全景（南東）



2. 大滝遺跡
圃場整備地区
第13トレンチ全景（南西）



3. 大滝遺跡
圃場整備地区
第14トレンチ全景（南東）

図版一〇 写真 大滝遺跡



1. 大滝遺跡
圃場整備地区
第15トレンチ全景（南西）



2. 大滝遺跡
圃場整備地区
第19トレンチ全景（東）



3. 大滝遺跡
圃場整備地区
第20トレンチ全景（西）

図版一 写真 大滝遺跡



1. 大滝遺跡
圃場整備地区
第24トレンチ全景（西）



2. 大滝遺跡
圃場整備地区
第27トレンチ全景（西）



3. 大滝遺跡
圃場整備地区
第28トレンチ全景（西）



1. 大滝遺跡
圃場整備地区
第32トレンチ全景（東）



2. 大滝遺跡
圃場整備地区
第34トレンチ全景（東）



3. 大滝遺跡
圃場整備地区
第35トレンチ全景（東）

図版一三 写真 大滝島田遺跡



1. 大滝島田遺跡
圃場整備地区
第4トレンチ全景（東）



2. 大滝島田遺跡
圃場整備地区
第6トレンチ全景（東）



3. 大滝島田遺跡
圃場整備地区
第9トレンチ全景（東）

図版一四 写真 大滝島田遺跡・中曾根西遺跡・蓑島前川原遺跡



1. 大滝島田遺跡
圃場整備地区
第13トレンチ全景（西）



2. 中曾根西遺跡
高桑地区
第1トレンチ全景（西）



3. 蓑島前川原遺跡
圃場整備地区
第1トレンチ全景（西）

図版一五
写真
駒方遺跡・
駒方南遺跡



1. 駒方遺跡
圃場整備地区
第4トレンチ全景（東）



2. 駒方遺跡
圃場整備地区
第8トレンチ全景（東）



3. 駒方南遺跡
圃場整備地区
第2トレンチ全景（西）

図版一六 写真 越中国府関連遺跡・牧野金屋遺跡



1. 越中国府関連遺跡
渡壁地区
第1トレンチ全景（東）



2. 牧野金屋遺跡
鈴木地区
第1トレンチ全景（西）



3. 牧野金屋遺跡
越後地区
第2トレンチ全景（南西）

報告書抄録

ふりがな	しないいせきちょうさがいほうさんじゅう							
書名	市内遺跡調査概報 30							
副書名	令和元年度 東木津遺跡の発掘調査報告他							
卷次								
シリーズ名	高岡市埋蔵文化財調査概報							
シリーズ番号	第 81 冊							
編集機関	高岡市教育委員会							
発掘担当者	杉山大晋 田上和彦							
報告書編集者	杉山大晋 田上和彦							
所在地	〒 933-8601 富山県高岡市広小路 7 番 50 号 TEL 0766-20-1463							
発行年月日	西暦 2021 年 3 月 26 日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コ一ド		北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	対象面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
東木津遺跡	とやまけんたかおかし 富山県高岡市	016202	202150	36° 43' 37"	136° 59' 45"	191224 191225	547m ²	交番建設
その他の遺跡 各調査区	とやまけんたかおかし 富山県高岡市	016202				190423 200330		個人専用 住宅建設等
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
東木津遺跡	集落 官衙	弥生 近世	土坑 溝	15 基 4 条	縄文土器、古代土師 器、古代須恵器、中 世珠洲			

高岡市埋蔵文化財調査概報第 81 冊

市内遺跡調査概報 30

編集・発行 高岡市教育委員会

〒 933-8601 富山県高岡市広小路 7 番 50 号
TEL 0766-20-1463

2021 年 3 月 26 日

印刷所 小間印刷株式会社

〒 933-0927 富山県高岡市利屋町 3
TEL 0766-21-0411